

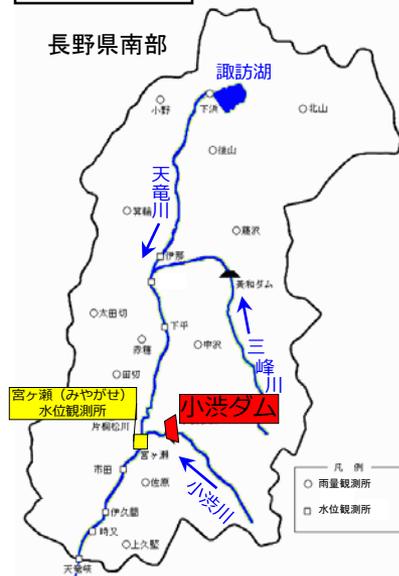
小渋ダム【防災操作による水位低減効果】

- 5月20日の降り始めからの降水量は、小渋ダム流域平均で約179mmを記録しました。
- 5月20日より降り続いた降雨により、小渋ダムでは洪水量（200m³/s）に到達し防災操作を実施しました。
- 洪水ピーク流入量は約500m³/sであり、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬（みやがせ）水位観測所における水位低減効果は約76cmと推定されます。

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正または追加をすることがあります

位置図

長野県南部



【小渋ダム概要】

河川名：天竜川水系小渋川
所在地：長野県中川村、松川町

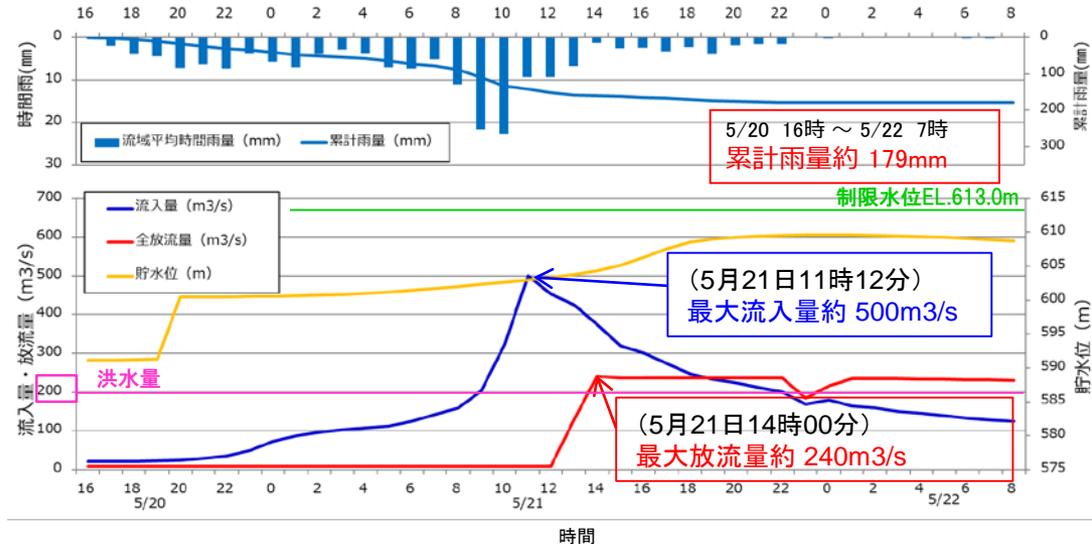
目的：洪水調節、発電
特定かんがい

堤高：105.0m
(ダム天端標高EL.620.0m)

堤頂長：293.3 m
流域面積：288.0 km²
総貯水容量：5,800 万m³
洪水調節容量：3,390 万m³
(梅雨期)

管理開始：S44年7月～

小渋ダムの防災操作の状況



宮ヶ瀬水位観測所(長野県松川町生田地先)

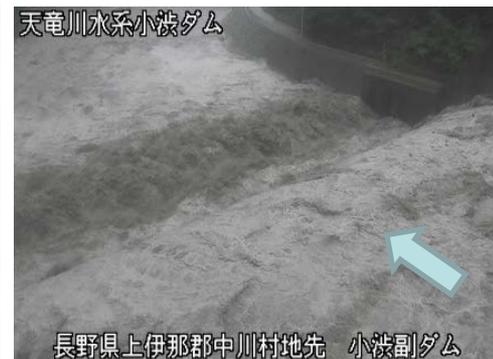
調節しなかった場合の水位
調節した場合の水位 ———

5月21日11:10時点
水位低減効果量
約76cm

ダム下流河川における水位低減効果



小渋ダム放流状況(5/21 12時)



小渋ダム直下副ダム流下状況(5/21 12時)